

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 第6回就労支援部会				
(2) 開催日時	平成30年11月19日（月）15：00～17：00				
(3) 開催場所	蒲田地域庁舎5階 小会議室2				
(4) 出席した委員、事務局等	委員 <敬称略>				
	鶴田 雅英	中野 真弓	高橋 由紀	平井 有希子	都丸 利奈子
	谷口 学	山崎 訓子	根本 真理子	佐藤 正浩	宇田尻 浩司
	星野 歩	富田 文子	小島 誠治		
	区職員：富永 眞也				
	事務局：小林 善紀、森崎 恵里、滝本 裕弥、西澤 佳佑				
欠席者：相澤 あゆみ、加藤 治、酒井 弘美、関 香穂利					
(5) 内容・要旨	<p>1 各委員・各ネットワークからの情報提供</p> <p>(1) おおたTSネットから情報提供 12月1日にサポートセンターにて拡大定例会を実施する予定。障害福祉サービスの枠に捉われず、支援を実践している方を講師としてお呼びし、講演会とトークセッションを行う予定。 11月の定例会は、弁護士が数名参加して情報交換を行った。</p> <p>(2) ひきこもり・生きづらさ茶話処 in 大田の報告 10月22日に第一回として実施した。43名の方が参加。当事者の方も数名参加されていたが、高齢の保護者の参加が多かった。その後、個人面談を希望する方もいた。JOBOTAの利用者の方も参加したという方が数名いたと報告があった。今後、第二回目以降も実施していく予定。</p> <p>(3) 第2回本会報告 例年よりも中間報告を縮小し、議論の時間を取れるような形で実施した。議題として、次年度以降は委員の任期を2年にしてはどうかとの提案があった。また、就労支援部会とこども部会との合同部会についての感想や、全体合同部会についての次回以降の実施方法についての意見交換などがあった。</p> <p>(4) 第3回精神障害者就労定着支援連絡会のお知らせ 12月10日に第三回の講演会を行う。今回は、医療機関からの情報提供として、医療機関での取り組みやデイケアを卒業していく当事者をどのように送り出しているのか講演して頂く予定。 10月に行った第二回の講演会は、企業の雇用事例と医療機関が行っている就労移行支援事業での支援の話をしてもらった。</p> <p>(5) 中央省庁での障がい者雇用の水増し問題について 来年2月に一括での採用試験が実施される。11月27日に各省庁合同の説明会がある。方針については、厚生労働省のHPに、「公務部門における障害者雇用に関する基本方針」が掲載されている。11月20</p>				

日の労働審議会にて、今回の件について検討される可能性があるため、議事録で動向を確認する必要もあるか。

2 事務局からの情報提供・確認事項

(1) 11月就労促進担当者会議の報告

11月13日に実施。就労プログラムに取り組んでいる事業所も多いことから、アセスメントとマッチングの視点をテーマに、学習会を行った。

(2) 就労促進懇談会の案内

11月29日に区民ホールアプリコにて実施予定。就労定着支援事業が施行されたことを背景に、定着支援をテーマに設定。定着支援について、雇用側と支援側のそれぞれの視点から考える場となればよい。興味のある方は、お申込みを。

(3) 公開セミナー（平成31年2月5日）の内容について

作業部会において、内容と講師を検討している。テーマ候補として、「福祉的就労とまちづくり・まちおこし」が上がっている。まちづくりと障がい者の働くということをマッチさせる取り組みを実施している方に講師を依頼中。

講演いただく内容の軸として、①商店街の活性化が必要②福祉的就労で働いている方々の多様な働き方を検討する必要がある③地域に根差している障害福祉サービス事業所もある。その実情をどう活かしていけるかを検討していく。などが挙げられた。

3 こども部会とのコラボ企画・全体合同部会の振り返り

(1) こども部会とのコラボ企画のアンケート結果からの意見・感想

仕事は人生の一部であるという視点を改めて考えることができ良かった。就労支援部会としても、人生の一部としての就労という捉え方で議論していく必要があると改めて感じた。

テーマ設定にもよるが、もう少し具体的な課題についての解決策等が検討できると良いと思った。

（就労を含めた）人生をトータルで考えていくときに、そこに关わる相談支援機能の強化が必要だという意見が出ていた。そういった意味では、今後、相談支援部会も含めて合同部会を開催できると良いと感じた。

仕事をする上でも余暇の充実が必要という意見が印象的だった。

家庭内で役割を与える等、こどものうちからできることやしておくべきことは何かを考えなければと感じた。

学校の先生が同じグループにいたが、保護者と本人との意見や温度差の違いがあるという話があった。

支援者という立場で参加していて、どうしても当事者や保護者の立場と温度差が生じてしまっていたという反省に気づけたことが一番の収穫であった。

就労が全てではなく、人生の中で「はたらく」を広い視野で見たい。一般就労だけでなく、福祉的就労も「働く」ということになるのではないかという意見が出たことが印象的であった。

(2) 9月の合同部会の振り返り

のみ委員同士が知り合えるきっかけになったことは良かった。

本会においても、合同部会のスタートとしては良かった、次回以降をどのように実施していくかは検討が必要という意見が出ていた。

委員の任期が2年という提案があったことと関連して、一回目は今回のように知り合うことを目的として実施しても良い。二回目以降の内容や検討事項を考えていかないと、合同部会を実施することだけが目的となってしまうおそれもある。

「つながる・わたす・ひろげる」というテーマ設定が、参加するまでは曖昧なテーマではないかと感じていたが、実際に参加してみると、テーマ設定の目的がよくわかった。合同部会自体が、「つながる・わたす・ひろげる」のきっかけとなり、視野が広がった。

共通課題が確認できたら、合同部会を実施していくという形もよいのではと感じた。

4 本日の検討課題

○今年度の課題と取り組みの確認

今年度、検討課題として目標に掲げていたテーマを再度確認した。

後半で取り組む内容としては、①新しいネットワークづくりとして、大田区で不登校の方々を対象としたフリースクールを運営している方をお呼びし、情報提供を受け、意見交換を行う②福祉的就労のあり方③多様な働き方について、公開セミナーを通して検討を行う④就労定着支援事業について、情報の確認・共有を行っていく、など確認した。

5 次回日程

平成 30 年 12 月 17 日（月） 15 時 00 分～17 時 00 分

場所：蒲田地域庁舎 5 階 小会議室 2

司会：高橋委員

書記：佐藤委員